

## ■■ INDEX ■■

### 1) 首都圏マンション市場動向

- 1. 2019年12月の新築マンション市場(首都圏) P.1
- 2. 2019年12月の中古マンション市場(首都圏) P.2

### 2) マーケットビュー

- 1. 2020年2月の主な供給スタート物件一覧 P.3

### 3) データファイル

- 1. 各社の動き P.4 ~P.6
- 2. 新築マンション市場データ(エリア別) P.7~P.11
- 3. 中古マンション市場データ(エリア別) P.12~P.17
- 4. 新築住宅着工データ(首都圏) P.18~P.19
- 5. 首都圏分譲マンション市場の流れ P.20

## ■■ 2020年1月のダイジェスト ■■

### テーマレポート①) 2020年 エリア別マーケット動向

2020年の首都圏新築マンションの供給戸数は、約35,000戸前後(前年比▲1%)と予測。供給ボリュームは前年同水準ながら、2020年は、都心部だけでなく、都心20km圏外においても、新規スタート物件比率が過半となる行政が散見され、マーケットの活性化に期待。

本レポートでは、2020年の供給予定より、エリア別のマーケット動向について、新規スタート物件に着目し、「新規スタート物件比率が高い行政」「主な新規スタート物件ラインナップ」「価格動向」等についてまとめた。

[トピックス] 年度末に向けた動き～販売促進の状況～

### テーマレポート②) 年初のお客様マインドから、今後の見通しを考える

～「2020年の捉え方」・「中長期(2021～25年)の捉え方」は如何に?～

2020年年初の景況感は、上向きでスタート。国際情勢等の影響を懸念する声は引き続き聞かれるものの、「東京オリンピック」開催による経済・景気への影響を期待する声も多く聞かれている。

本レポートでは、オリンピックイヤーとなる『2020年の見通し』と、オリンピック終了後の『中長期(2021～25年頃)の見通し』について、以下の項目から分析。年代・年収別での傾向や、住宅購入検討への影響等について考えた。

#### 【分析項目】

- ◇2020年の予測項目:「変化のキーワード」「関心・注目の出来事」「所得の見通し」「どんな年になるかの捉え方」
- ◇2021～25年頃の予測項目:景気の見通し・マンション価格の見通し 等

